

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和3年7月12日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3490201161		
法人名	(有) サカコーポレーション		
事業所名	グループホームガーデンの家川内		
所在地	〒731-0102広島県広島市安佐南区川内5丁目1-9 (電話) 082-831-4165		
自己評価作成日	令和3年6月20日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&JigyosyoCd=3490201161-00&ServiceCd=320&Type=search
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	令和3年6月29日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

<p>利用者様お一人おひとりを尊重したその人らしい生活が送れるように支援を行っている。 コロナ禍でご家族とのかかわりが持てない中、電話やZOOMで情報を共有できるように努めている。 利用者様の変化などにもすぐに対応できるよう看護職との連携もとっている。</p>
--

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

<p>経営理念である「最期の10年が最高の10年になるための価値あるケア」を常に考えて利用者本位の視点に立ったケアを職員は目指して行動している。バランスの摂れた食事、嚥下に気を配り利用者に適した食事形態の工夫、提供、食事の用意など役割参加など楽しい食事時間を過ごせるよう支援している。利用者や家族の意向や思いをしっかりと聴き、信頼関係を築き、介護計画に活かした支援を行っている。行事も多く夏祭り、花火大会など地域と繋がりをもち利用者に多くの楽しみが持てる支援を行っている。地域医療の連携や訪問看護師の昼間常駐など医療面での安心感がある。排泄に関しても尊厳が守られるよう配慮がなされ、自立支援に力を入れている。コロナ禍で外出も自粛されているが、行きたいところにはドライブで巡ったりしている。</p>
--

自己評価	外部評価	項目(せせらぎ)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践に近づけている。	毎朝の朝礼時、研修時に唱和し、理念を意識して実践している。	朝礼、研修時に経営理念、運営理念、チーム目標などを唱和している。運営理念は施設内の目のつきやすい場所にも掲示し、日常的な気付きになっている。経営理念や認知症、身体拘束、虐待防止等について記載してある携帯用職員ハンドブックもあり、常に理念を共有しながらケアの向上に繋げている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	コロナ禍で行事はないが、地域の方から野菜をいただいたり、近所の方との挨拶や会話をしている。	町内会に加入し、回覧板で情報の共有を図り地域の一員として日常的に交流している。地域の人から花や野菜を届けてもらう一方、施設からは子ども食堂に時々食材の提供を行って交流を深めている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	コロナ禍で地域交流が難しく、運営推進会議にて発信している。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	2か月に一度の開催して、意見交換を行っている。	運営推進会議では、利用者の現状や取り組みの報告などを行っている。家族の参加拡大や議事録の送付など、運営推進会議が利用者のサービス、ケアの向上に活かせるよう順次課題を見つけ取り組んでいる。地域包括支援センターや町内会長など参加者からは水害訓練の提案があり、意見交換の結果災害の計画を策定し、近々実施する予定である。	
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	運営推進会議への参加や、密に連携をとり、情報の共有と相談を行っている。	地域包括支援センターの職員とは施設の活動状況を報告するなど密接に連携をとり、要望、助言を受け、情報の共有を図り協力関係を築き、サービスの向上に繋げている。	

自己評価	外部評価	項目(せせらぎ)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	研修を何度も行い理解を深めている。身体拘束廃止委員会で月に1度協議している。	今年度はグループワークでスピーチロックを中心に研修を行っている。忙しいを理由に「待って」とつい言ってしまうがどのように対応したらよかったか検証し共有しケアに活かしている。研修が利用者の立場で考える利用者主体のケアを考える機会となり、身体拘束をしないケアの実践の質の向上に繋がっている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	高齢者虐待防止委員会を立ち上げ、内部研修にも力を入れ虐待防止に取り組んでいる。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	内部研修を実施している。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	利用者、家族との面談を行い、不安や状況が変化したときなども密に連絡を取り合っている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	コロナ禍で、顔を合わせての意見や要望を聞く機会を設けることができていない。	以前聞いていたビールが好きだという利用者の嗜好を思い出し誕生日にノンアルコールビールで祝い喜んでもらった。清潔好きの利用者の入浴回数を増やして欲しいと家族から要望があり、すぐ対応した。利用者が工作をする際、使用する糊を変えてほしいという要望にもすぐ対応している。	

自己評価	外部評価	項目(せせらぎ)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>面談や委員会などで、意見が届く環境にある。</p>	<p>リーダーは常に自ら職員の意見を聴き、話しやすい職場環境づくりを心掛けている。仕事の効率化や協力関係の観点から話し合い、二つのユニットに二人のリーダー体制を一人体制にした結果、利用者の行動範囲も広がりケアの向上に繋がっている。パット置き場の増設の要望を出すとすぐ事務所に棚を作ってくれるなど、職員の意見を反映している。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>目標チャレンジシートを実施している。</p>		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>外部研修への参加を推奨している。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	<p>ZOOMでの研修会はあるが、職員参加はできていない。</p>		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<p>本人の意向を大切に、信頼される関係づくりに努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項 目(せせらぎ)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	家族の声に耳を傾け関係づくりに努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	家族、本人の意向を確認して、ケアを提供している。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	できるだけ目線を合わせ、会話し、できることは積極的にしてもらい、できないことを支援している。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	必要な時は電話で連絡し、面会はZOOMで行っている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	コロナ禍で外出が難しいため、できるだけ利用者の声を聴き支援に努めている。	お墓参りがしたい利用者の願いを叶えるため、お墓や自宅周辺の思い出の場所、馴染みの場所をドライブしながら巡り、大切にしてきた場所との関係が途切れないよう支援している。馴染みの美容院へ行くことや、友人が訪れることもあり、関係が継続するよう支援している。	

自己評価	外部評価	項目(せせらぎ)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。</p>	<p>利用者が孤立しないように配慮し、談笑していただける支援をしている。</p>		
22		<p>○関係を断ち切らない取組み</p> <p>サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。</p>	<p>退去後も自施設への情報提供やその後の様子をうかがっている。</p>		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。</p>	<p>一人ひとりとしっかりかかわり、意をくみ取るよう心掛けている。</p>	<p>思いの把握には利用者との信頼関係が重要と考えている。入浴時や夜勤時に思いを吐露することが多いので、申し送り、連絡ノートに記載し職員間で共有している。思いを自分では伝えられない利用者にはどんな時に大声を発するかなどの原因を観察し、対応し、次に繋げていくよう支援している。</p>	
24		<p>○これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。</p>	<p>フェイスシート、本人との会話や家族からの話を聞いて把握するように努めている。</p>		
25		<p>○暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。</p>	<p>生活の様子を注意深く観察し、小さな変化に気づけるように努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項 目(せせらぎ)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>毎月モニタリングを行い、改善が必要な時はミーティングにて話し合っている。ケアプランと合っていないと思うこともあるが、すぐに改善されないときもある。</p>	<p>月1回、担当者や関係者の合同ミーティングを行っている。事前に各職員はプチミーティングシートでチェックし利用者に対する意見、提案などを記載しリーダーに提出している。その意見をリーダーがまとめて対策を発信し介護計画に反映している。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>生活記録に記入して、情報の共有は、ノートやミーティングを利用し、介護計画に活かしている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>直接の面会ができない中、ご家族の料理の差し入れを渡し、日々の様子や家族の話聞いて、パイプ役となっている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>コロナ禍で地域ともかかわりができていない。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>かかりつけ医は本人・家族の希望される先生として、看護職とも連携し支援している。</p>	<p>かかりつけ医の受診希望に応じ、支援している。その際、安佐医師会連絡シートを利用して施設と医師の連絡連携に役立てている。1階に訪問介護の看護師が常駐している。</p>	

自己評価	外部評価	項 目(せせらぎ)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	朝礼時に看護職に報告、週1回の訪問看護の他、変化はすぐに看護職へ報告している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時退院時情報交換し、病院関係者とも連絡相談を密に行っている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	本人家族の意思を確認し、できるだけ意向に沿えるようチーム内でもミーティングを行い、取り組んでいる。	入所時に重度化、終末期の方針の説明を行い、意向も聞くが、その後家族の気持ちの変化に合わせて何度も主治医や看護師、職員などが説明・確認を行い方針の共有をし、チームで支援をしている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	マニュアルを基に研修・訓練の実施。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	マニュアルや研修で訓練の実施。	消防法令に基づく消防計画や夜間を含めた訓練の実施を遵守している。運営推進会議で提案された水害対策の計画書の策定実施を検討している。地域住民との連携協力体制はできているが、高齢化に伴い、地域の人から施設側が頼りにされており、新たな協力体制づくりが今後の検討課題となっている。	

自己評価	外部評価	項 目(せせらぎ)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	視線を合わせ丁寧な言葉かけを行う。	人生の先輩として尊敬し、誇りを傷つけないよう、「何々しましょうか?」「どうされましたか?」など丁寧な言葉遣いで接するよう職員全員の目標として心掛けている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	言葉で表現できない方も本人の思いを、生活の中から感じ取り、自己決定できるような支援を行う。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	集団生活をしているため、難しい点もあるが、できる限り、本人の希望に沿った支援を心がけている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	季節に合った服や本人の思いに添った身だしなみの支援を行う。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	役割をもって準備や片付けなど職員と一緒にを行う。	行事食のほか回転寿司に出かけたり、焼鳥、お好み焼きなど利用者と一緒で作って楽しんでいる。配膳や盛り付けなどで、人の役に立ちたいと願う利用者の思いを活かし役割を楽しめる支援もしている。食材の切り方や形態について試行錯誤しながら工夫し最期まで食事を楽しめるよう支援している。	

自己評価	外部評価	項目(せせらぎ)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	食事量、水分量を記録し1日を通し確保できるように支援を行う。食事量や水分量の少ない時は、嗜好に合わせたものを提供している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	毎食後にその人に応じた口腔ケアの介助を行っている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	自立でトイレに行けない方、排泄の認識が少ない方には声掛けを行い誘導している。	片方の手でズボンを上げることができる利用者には、その機能を活かした支援や工夫で、自立に向けたケアの支援をしている。排便は薬に頼らないようオリゴ糖や牛乳で調整している。失敗の多い利用者にはリハビリパンツの大小やパットの組み合わせ等改善策を考慮しながら排泄の支援を行っている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	水分摂取や腸の働きを少しでも良くできるもの(牛乳やオリゴ糖)を使用している。運動はラジオ体操をしているが、できない方もおられるため、不足している。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。	時間やタイミングは、ほぼ職員が決めている。体調や、拒否される場合は、時間を置いたり、入浴困難時は、清拭したりしている。	入浴の時間や回数は一応決まっているが、利用者の体調などに合わせた対応を心掛けている。入浴を拒む場合は、無理強いをせず、自然な流れで誘導を行っている。入浴時間は利用者スタッフとのコミュニケーションの場として重要と捉えており、入浴剤などでリラックスできるよう支援している。	

自己評価	外部評価	項 目(せせらぎ)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安 心して気持ちよく眠れるよう支 援している。	就寝時間は決めず、本人の意向 を尊重している。リクライニング の車いすでフロアでも安楽な状 態で過ごすよう支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりを使用している薬の 目的や副作用、用法や用量につ いて理解しており、服薬の支援 と症状の変化の確認に努めてい る。	薬情報を活用し、理解に努めて いる。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過 ごせるように、一人ひとりの生 活歴や力を活かした役割、嗜好 品、楽しみごと、気分転換等の 支援をしている。	食器洗いやシーツ交換などの手 伝いやレクレーションを計画し 役割楽しみの支援を行っている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそ って、戸外に出かけられるよう 支援に努めている。また、普段 は行けないような場所でも、本 人の希望を把握し、家族や地 域の人々と協力しながら出かけ られるように支援している。	コロナ禍で外出制限ありできて いない。	家族とランチを食べに外出したり 、帰宅したりするなど、利用者 の思いを実現できる限り支援し ている。日常的には畑の残る地 域や施設周辺を散歩したり、買 い物に出かけたりしている。コ ロナ下で遠方でのお花見や紅葉 狩りは自粛しているが、近隣の 外出を楽しんでいる。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つこと の大切さを理解しており、一人 ひとりの希望や力に応じて、お 金を所持したり使えるように支 援している。	施設内でお金は持たないよう になっている。		

自己評価	外部評価	項 目(せせらぎ)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	電話やZOOMを活用、手紙の受け渡しをしている。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	共有空間を清潔に保ち混乱や事故の無いように整理整頓に努めている。季節感が出るように、季節感に合った飾りつけを毎月行っている。	明るく日当たりのよいリビングには利用者やスタッフが作成した作品が飾られ、四季折々の季節感を味わえる工夫をしている。食卓のほかにソファが置かれ、ゆったりとくつろげる場所で居心地よく過ごせるよう配慮している。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	テーブル席のほかにソファを置いたり、ベランダにもベンチを置き、自由に座っていただいている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	備え付けのベッド、洗面台以外は、自由に持ち込んで使い慣れたものを使用している。	自宅から持参した馴染みのタンスや机、冷蔵庫、TV、ラジオ、趣味の品などに囲まれ今までの日常生活が継続できるよう配慮している。居室では購読している新聞を読んだり、家族とメールでコミュニケーションをとったりと、居心地よく過ごせる時間が持てるよう配慮している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	手すりの設置やトイレ浴室の表示をすることでスムーズに生活していただける工夫している。		

V アウトカム項目(せせらぎ) ← 左記()内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

自己評価	外部評価	項目(さえずり)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践に近づけている。	毎朝の朝礼時、研修時に唱和し、理念を意識して実践している。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	コロナ禍で行事はないが、地域の方から野菜をいただいたり、近所の方との挨拶や会話をしている。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	コロナ禍で地域交流が難しく、運営推進会議にて発信している。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	2か月に一度の開催して、意見交換を行っている。		
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	運営推進会議への参加や、密に連携をとり、情報の共有と相談を行っている。		

自己評価	外部評価	項 目(さえずり)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	研修を何度も行い理解を深めている。 身体拘束廃止委員会で月に1度協議している。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	内部研修を実施している。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	内部研修を実施している。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	利用者、家族との面談を行い、不安や状況が変化したときなども密に連絡を取り合っている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	コロナ禍で、顔を合わせた意見や要望を聞く機会を設けることができていない。		

自己評価	外部評価	項 目(さえずり)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	面談や委員会などで、意見が届く環境にある。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	目標チャレンジシートを実施している。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	外部研修への参加を推奨している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	ZOOMでの研修会はあるが、職員参加はできていない。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	本人の意向を大切に、信頼される関係づくりに努めている。		

自己評価	外部評価	項 目(さえずり)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>家族の声に耳を傾け関係づくりに努めている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>家族、本人の意向を確認して、ケアを提供している。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>できるだけ目線を合わせ、会話し、できることは積極的にしてもらい、できないことを支援している。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>必要な時は電話で連絡し、面会はZOOMで行っている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>コロナ禍で外出が難しいため、できるだけ利用者の声を聴き支援に努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項 目(さえずり)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。</p>	<p>利用者が孤立しないように配慮し、談笑していただける支援をしている。</p>		
22		<p>○関係を断ち切らない取組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。</p>	<p>退去後も自施設への情報提供やその後の様子をうかがっている。</p>		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。</p>	<p>一人ひとりとしっかりかかわり、意をくみ取るよう心掛けている。</p>		
24		<p>○これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。</p>	<p>フェイスシート、本人との会話や家族からの話を聞いて把握するように努めている。</p>		
25		<p>○暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。</p>	<p>生活の様子を注意深く観察し、小さな変化に気づけるように努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項 目(さえずり)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	毎月モニタリングを行い、改善が必要な時はミーティングにて話し合っている。 ケアプランと会っていないと思うこともあるが、すぐに改善されないときもある。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	生活記録に記入して、情報の共有は、ノートやミーティングを利用し、介護計画に活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	直接の面会ができない中、ご家族の料理の差し入れを渡し、日々の様子や家族の話聞いて、パイプ役となっている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	コロナ禍で地域ともかかわりができていない。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	かかりつけ医は本人・家族の希望される先生として、看護職とも連携し支援している。		

自己評価	外部評価	項 目(さえずり)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>	朝礼時に看護職に報告、週1回の訪問看護の他、変化はすぐに看護職へ報告している。		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	入院時退院時情報交換し、病院関係者とも連絡相談を密に行っている。		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p>	本人家族の意思を確認し、できるだけ意向に沿えるようチーム内でもミーティングを行い、取り組んでいる。		
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。</p>	マニュアルを基に研修・訓練の実施。		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。</p>	マニュアルや研修で訓練の実施。		

自己評価	外部評価	項 目(さえずり)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	視線を合わせ丁寧な言葉かけを行う。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	言葉で表現できない方も本人の思いを、生活の中から感じ取り、自己決定できるような支援を行う。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	集団生活をしているため、難しい点もあるが、できる限り、本人の希望に沿った支援を心がけている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	季節に合った服や本人の思いに添った身だしなみの支援を行う。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	役割をもって準備や片付けなど職員と一緒に行う。		

自己評価	外部評価	項 目(さえずり)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	食事量、水分量を記録し1日を通し確保できるように支援を行う。食事量や水分量の少ない時は、嗜好に合わせたものを提供している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	毎食後にその人に応じた口腔ケアの介助を行っている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	自立でトイレに行けない方、排泄の認識が少ない方には声掛けを行い誘導している。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	水分摂取や腸の働きを少しでも良くできるもの(牛乳やオリゴ糖)を使用している。 運動はラジオ体操をしているが、できない方もおられるため、不足している。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている。	時間やタイミングは、ほぼ職員が決めている。 体調や、拒否される場合は、時間を置いたり、入浴困難時は、清拭したりしている。		

自己評価	外部評価	項 目(さえずり)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安 心して気持ちよく眠れるよう支 援している。	居室にいられたり、リビングに出 られたり本人の希望を優先して いる。		
47		○服薬支援 一人ひとりを使用している薬の 目的や副作用、用法や用量につ いて理解しており、服薬の支援 と症状の変化の確認に努めてい る。	薬情報を活用し、理解に努めて いる。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過 ごせるように、一人ひとりの生 活歴や力を活かした役割、嗜好 品、楽しみごと、気分転換等の 支援をしている。	自分でできること、特技などを 生かし、料理や食器洗いなど手 伝いや、レクリエーションの工 作など行ってもらうよう働き 掛けている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望に そって、戸外に出かけられるよ う支援に努めている。また、普 段は行けないような場所でも、 本人の希望を把握し、家族や 地域の人々と協力しながら出 かけられるように支援してい る。	コロナ禍で外出制限あるが、テ ラスやごみ捨てなどで切る限 りの対策をとっている。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つこと の大切さを理解しており、一人 ひとりの希望や力に応じて、 お金を所持したり使えるよう に支援している。	施設内でお金は持たないよう になっている。		

自己評価	外部評価	項 目(さえずり)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>電話やZOOMを活用、手紙の受け渡しをしている。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>共有空間を清潔に保ち混乱や事故の無いように整理整頓に努めている。季節感が出るように、季節感に合った飾りつけを毎月行っている。</p>		
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>テーブル席のほかにソファを置いたり、ベランダにもベンチを置き、自由に座っていただいている。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>備え付けのベッド、洗面台以外は、自由に持ち込んで使い慣れたものを使用している。</p>		
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>手すりの設置やトイレ浴室の表示をすることでスムーズに生活していただける工夫している。</p>		

V アウトカム項目(さえずり) ← 左記()内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<input type="radio"/>	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input type="radio"/>	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の3分の2くらいが ③家族等の3分の1くらいが ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホームガーデンの家川内

作成日 令和3年8月15日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	23	利用者一人ひとりのできることの把握はしているが、「やりたいこと」への取り組みが不十分である。	一人ひとりの「やりたいこと」を見つけ出し、スタッフみんなで取り組むことができる。	「やりたいこと」を引き出すためのスタッフ一人ひとりのコミュニケーション力を充実させ、接遇かかわり方を習得する。 お一人おひとりのやりたいことに対するカンファレンスを行い、ご家族とも相談協力を得て、やりたいことを実現する。	3か月以内 1年以内
2					
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。